

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	千葉県DX推進協議会			代表者名	木村 文和
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	事務局(千葉県総務部デジタル改革推進局デジタル戦略課)	連絡先電話番号	043-223-2441
担当者役職	事務局員(副主査)	担当者氏名	浅川 聡	連絡先E-mail	
住所	263-0032 千葉県千葉市中央区市場町1-1				

##### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	千葉県	連絡先部署	総務部デジタル改革推進局デジタル戦略課		
担当者氏名	浅川 聡	連絡先電話番号	043-223-2441	連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(複数団体)	事業名	ちばDXフォーラム
概要	令和7年2月7日(金)の開催を予定している「ちばDXフォーラム」において、官民双方に通じるような、デジタル時代に求められる人物像、スキル、人材育成の現状、育成の手法等について学べるような講演をお願いしたい。		
支援を求める分野	人材(DXに関する知識習得・研修・育成)		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
		無			
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月7日	講演(実地)	14時30分	16時30分	
				活動時間(分)	120
2-2. 派遣場所	会場名	千葉県文化センター5階 セミナー室	最寄駅	千葉駅	
	所在地	千葉県千葉市中央区中央2-5-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	生成AIの登場がデジタル人材の育成やその育成手法にいかの影響を与えたのか、また、どのように育成手法を変えていくべきなのかについて、専門家の知見を学ぶことができた。総務省のデジタル人材育成ガイドブックのプロジェクトリーダーから直接デジタル人材の育成について学ぶことができ、非常に参考になった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	62人	
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)	
	人数	10	0	52	0

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	少子高齢化の進行などにより幅広い業種で人手不足が課題となっており、少ない人員でも業務を継続できるよう、自治体や企業などでデジタル技術の活用が進められている。また、デジタル技術を効果的に活用するため、組織において、デジタル技術を活用し、変革に繋げることができる「デジタル人材」の育成が急務となっている。そこで、デジタル技術を活用した人手不足へのアプローチ、デジタル人材の育成に関する現状や育成の手法を学び考える機会を提供し、課題解決の一助としていただく中、協議会として人材育成に関する最新かつ豊富な知見を有する有識者との接点を持っていないため、そういった方々を講師として招へいすることができず、課題に対してアプローチできるような講演を実施することができていない点が課題となっている。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	デジタル技術を活用した人手不足へのアプローチ、デジタル人材の育成に関する現状や育成の手法を学び考える機会の提供を通じた、各自治体等におけるデジタル人材の育成施策の検討

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「デジタル時代の人材とその育成について」という題目で、総務省のデジタル人材の育成ガイドブックをベースに、デジタル人材育成の意義、デジタル人材の育成目標、AIが人材育成に与えた影響、AIを活用した育成手法等についてご講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル人材の育成については官民間問わず喫緊の課題となっているが、AI等が急速に進化していく中でデジタル人材の育成をどのようにしていくべきなのか、専門家による知見を得ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今後、今回の講演の内容を受けて各自治体や企業・団体等において、人材育成に関する計画や施策について検討・実施されるものと思慮している。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	上記のとおり今後検討・実施されるものであるため、現時点では該当ありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演の感想についてアンケートを取ったところ参考になったという声が多かった。例えば、人材育成に悩んでいたが参考になった、DX人材のあり方もAIによって変わっていくことを学ぶことができた、といった意見が見られた。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進を支える土台づくりとして、様々な分野におけるデジタル人材の確保・育成を進めていくことで、行政、企業・団体、県民等各々の立場で相互に協力して地域課題の解決や新たなサービスの創出を図り、誰一人取り残されることなく、誰もがデジタル活用の利便性を享受するとともに、担い手となり、心豊かに暮らせる社会や、魅力の向上や経済の活性化など活力ある地域社会の実現を目指す。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

